

# 新年度、注目事業<sup>3項目</sup>はこれだ! 期待通りの成果あがるか、しっかり検証!!

 権田孝史 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 男衾駅東口整備事業</li> <li>▶ 男衾中学校舎耐力度調査</li> <li>▶ 観光農業推進事業</li> </ul>	男衾駅東口通り線街路整備事業が令和3年度中に終わる。「男衾の玄関」として、周辺開発に期待。観光農業に力を入れ、遊休農地を活かし自然に恵まれた農地の活用方法を検討すべき。
 保泉周平 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 活力ある農林業の振興</li> <li>▶ 地域ブランドの創出</li> <li>▶ 企業誘致の推進事業</li> </ul>	農林業持続のため、担い手の育成確保、仲間づくりを進め、農地を利活用し、空き家に付随する遊休農地をセットで取得促進することで、移住・定住促進補助事業も注目に値する。
 大北久勝 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 男衾中学校舎耐力度調査</li> <li>▶ 有機農業実践講座</li> <li>▶ 男衾駅東口周辺整備</li> </ul>	拡充と新規3事業に注目。1000万円の中学校舎調査結果は注視。3900万円強の男衾駅周辺整備は期待度◎。45万円と少額の有機農業実践講座は、今後の農政の主軸として注目の新規事業。
 笠原則夫 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ GIGAスクール構想</li> <li>▶ 男衾駅周辺まちづくり</li> <li>▶ 特定外来生物捕獲事業</li> </ul>	教育こそ最大の仕事。未来のリーダー育成事業に期待。市街地活性化の次は男衾周辺も変革のとき、人口維持へ滞らず進めたい。急増殖のアライグマ等、駆除に500万円超の予算も期待。
 中嶋文雄 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 中心市街地活性化事業</li> <li>▶ 旧環境事業所解体事業</li> <li>▶ 保育施設の整備</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、経済対策等喫緊の課題が山積している。住民サービスの低下とならないよう、継続事業を確実に遂行し、新規事業も果敢に取り組みなければならない。
 吉澤康広 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 定住促進事業</li> <li>▶ 空き家対策事業</li> <li>▶ 民間活力の積極活用</li> </ul>	子育て世帯の負担軽減と住みたく目玉政策の創生を。空き家の利活用及び適正管理の推進に補助金。新制度の創設に期待。駅前拠点施設の運営や空き家対策等に民間ノウハウ活用を。
 大澤博 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 地域おこし協力隊</li> <li>▶ 医療体制強化</li> <li>▶ 介護保険強化</li> </ul>	新型コロナウイルス感染拡大により、経済活動が制限され、景気に大きな影響を与え、失業者が増加し生活保護が増えている。町独自の施策で町民の生活を守るべき。
 津久井康雄 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 定住促進事業</li> <li>▶ 旧耐震住宅除却補助金</li> <li>▶ 住宅取得支援補助金</li> </ul>	寄居町に移住・定住する若い世代、子育て世代に新築住宅取得費用を助成。また、新婚世帯家賃補助金を拡充したほか、「まちなか旧耐震住宅除却補助金」を新たに予算計上した。

議会の答えは「可決」。  
令和3年度一般会計予算（111億円）は賛成13反対2で可決された。しかし、賛成・反対の中にも、その判断に至る議員の様々な思いがある。新年度注目事業を中心に、各議員が町民に向けて説明する!!

 鈴木詠子 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 産後ケア事業</li> <li>▶ 病後児保育事業</li> <li>▶ ICT利活用で効率化</li> </ul>	病後児保育、妊産婦への産後ケア（訪問型・宿泊型・日帰り型）が働く子育て世代への支援策として大きく前進。全庁的なデジタル化の推進で、さらに町民サービスの利便性UPを。
 峯岸克明 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 中活拠点施設整備</li> <li>▶ スマートIC周辺開発</li> <li>▶ GIGAスクール構想</li> </ul>	「稼ぐ力」を取り戻せ!! 企業誘致、中心市街地活性化、移住・定住、教育の充実は大きな柱。町づくりは人次第。若者、女性の登用、予算執行する町職員の熱意を大いに期待。
 岡本安明 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 障害者福祉の充実強化</li> <li>▶ 県道等インフラ整備</li> <li>▶ 教育施設の充実強化</li> </ul>	地域生活支援拠点整備事業は、深谷市と連携し、障害者の生活を広域的に支える事業を開始。県道花園本庄線の用土地区は令和3年度測量予定。用土小学校区にグリーンベルト設置。
 佐藤理美 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 空き家の利活用の推進</li> <li>▶ 移住・定住の促進</li> <li>▶ 子宮頸がんワクチン!</li> </ul>	女性特有のがんの予防。子宮頸がん予防ワクチン接種について中学1年及び高校1年生の保護者に対し、ワクチンの周知、接種判断の情報提供のための個別通知を実施。
 稲山良文 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 男衾中建替検討事業</li> <li>▶ 駅南周辺街路整備事業</li> <li>▶ 企業誘致推進事業</li> </ul>	子ども達に夢を。建設に向け「オール寄居」で力を結集し、本気で実現。電柱電線の地中化、美しい街並みが実現。雇用経済税収に効果大。寄居スマートIC付近に工業団地の建設に期待。
 原口孝 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 駅前拠点施設運営</li> <li>▶ 時間外勤務</li> <li>▶ 人事評価制度</li> </ul>	まちづくり会社は、中活事業では、なくてはならない。協議をして、当初は町からの補助も仕方ない。働き方改革に伴い時間外勤務を減らすことが課題。人事評価は二段階評価を行っている。
 田母神節子 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コロナ対策予算</li> <li>▶ 町営住宅の今後</li> <li>▶ 水道の基本料金改定は</li> </ul>	リーマンショック以来の財政の悪化、中小業者のコロナ後の対策が重要。平倉・上の原の町営住宅廃止は、若い人の定住に不安。水道料金の値下げ等と生活支援が不可欠。
 吉田正美 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 逆風下新年度予算成立</li> <li>▶ ワクチン接種準備加速</li> <li>▶ 小園中央道工事再開</li> </ul>	コロナ禍による経済の激変、地方自治体を襲う税収不足が予測される中、予算編成が行われた。税収不足分約4億円は基金の取り崩しや臨時財政対策債の発行で適切に対応。

「町民に知らせたい」議員16名が予算をチエツク

※議席番号順